

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の組織としての理念は、「笑顔と、やさしさと、利用者と共に」が昨年11月にできているが、ホーム独自の理念としてはまだ職員に周知されていない。	○	今後、地域密着型サービスとしてのホームのあり方を再確認することで独自の理念を完成させることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念については、職場会議を通じて日々取り組んではいるが理念の共通理解が十分とは言えない。	○	法人全体の理念としての理解はできているが、事業所独自のものとしては、まだ未完成である。今後、日々の業務が理念に基づいたものであるよう望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会へは未加入ではあるが、地区の行事への参加や保育園児や小学生がホームへ来て交流を図り、また、職員が介護者の集いへの参加ができている。	○	ホームの力を地域に還元しており、また、地域の人々の協力を得ながらさらに地域密着型サービスとしての事業所の役割を發揮してほしい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員で自己評価に取り組み、なおかつ、外部評価の結果をサービスの質の向上に生かしている。		運営者と共に自己評価・外部評価できれば、さらに業務の質の向上につながると考えられる。

宮崎県都城市 グループホーム庄内ひかり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度より利用者の参加を配慮して、運営推進会議が開かれることで生の声が聞かれ改善へと結びついている。		運営推進会議はいろいろな立場の構成メンバーで成り立ってはいるが、地域包括支援センター、民生委員の出席があれば地域に開かれたサービスにつながると考えられる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議で、市町村とのつながりができてきたので、今後は管理者のみならず職員にも広がるよう計画している。	○	市町村関係者と共にホームの質の向上を目指すことが重要と考えられる。今後さらに積極的な連携を図ってほしい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書を送付する際に、家族には利用者の状況報告やホーム便りを届けるようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御意見箱の設置はなされているが、その成果が出ていないのが現状である。家族会はまだ設立されていない。	○	運営推進会議への家族代表者の出席はあるので、是非、家族会を設け意見を出せるような場を作ってほしい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループホームの人員基準は満たされているが職員の入れ替わりが多く、利用者へのダメージが懸念される。	○	利用者への影響を配慮して、新人研修は2週間設けたり、夜勤も最低3回経験したりするなど工夫はなされているが、今後、労働環境の改善を図り職員が勤務しやすい雰囲気作りが望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内の勉強会や外部研修への参加はあり、徐々に職員が育っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度は当ホームで県南地区グループホーム研修会を企画・実践しサービスの質の向上へと取り組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に体験入居の形はとっていないが、利用開始前の時点で本人にも見学してもらい他の利用者で過ごす時間を設けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者とのかかわりの中で、同じ目線で共に過ごす関係づくりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日々の会話や行動の様子から意向を拾い上げ、一人ひとりの思いを尊重するよう心掛けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画には本人の意向や家族の希望など、まだ十分反映されてはいない点がある。	○	センター方式（認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式の略）の記録を一部の利用者に取り入れてはいるが、他のほとんどは事業所従来の方式でありこれから取り組んでいくべき課題である。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアに関しては、地域密着型サービスの特性を踏まえてはいるが記録面に反映されていない。	○	ケアプランに沿った記録ができるよう工夫し、できれば3か月ごとの見直しが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や本人のニーズには可能な限り応じて支援を行っている。例えば、必要な医療が受けられるよう支援したり、訪問理美容のサービスを定期的に受けている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医より週一回の往診があり、また、急変時の対応も適切になされているが、時としてドクターとの意思の疎通がとりづらく、業務がスムーズに流れない場合がある。	○	利用者のその時々々の症状及びニーズに合った病院、あるいは医師の確保ができることにより本人や家族の意向を尊重することになるが、今後対応できる医療機関の幅を拡大していくことが望まれる。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階で終末期あるいは寝たきり状態になった場合の対応について、家族との話し合っている。ホームとして今まで看取りの経験もあり場合によっては意思確認書を作成している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への対応時はプライバシーを損ねないように十分配慮しており、また、個人情報の取り扱いにも留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人が望む一日の過ごし方や、利用者のペースに合わせて支援を行っている。		

宮崎県都城市 グループホーム庄内ひかり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	システム上配食サービス利用になっているが、利用者が職員と共に食事を楽しく食べる雰囲気がある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、入浴を支援している。しゅう恥心に対する配慮にも心掛け、なるべく時間の限定をせず希望に沿った入浴の支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できるだけ本人の能力や特性を引き出し、カラオケ、畑仕事、縫い物、散歩など退屈しないよう配慮している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個人に対しての外出支援にまでは至っていないがユニットごとの月1回の外出支援は行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中門扉に鍵がしてあり、閉塞感や利用者を管理してしまう印象を受ける。	○	鍵をかけない自由な暮らしへの工夫を考慮されることが今後望まれる。

宮崎県都城市 グループホーム庄内ひかり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地区消防署との連携もあり避難訓練を定期的 に実施しているが、夜間帯での訓練は未実施 である。	○	災害対策に関してはホームだけで抱え込む のではなく、地域住民を巻き込んで日ごろ から協力体制を得られるよう整えてほし い。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	食事や水分の摂取量を日ごろきちんと把握す ることで一人ひとりに応じた支援ができてい る。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	広い敷地の中で利用者の共用空間はゆったり と保たれ、不快な音や光もなく安心して生活 できる環境である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	居室によっては何も置いてなく、やや殺風景 な印象がある。	○	本人や家族のニーズを踏まえ使い慣れた物 や、思い出深い日用品を持ち込み安心して くつろげる環境づくりが望まれる。

※  は、重点項目。